

## 東海市地域安全推進協議会会議録

会議の名称 令和7年度（2025年度）第2回東海市地域安全推進協議会  
会議の種別 公開  
開催日時 令和8年（2026年）2月19日（木）  
午後2時から午後3時まで  
開催場所 市役所302会議室  
出席委員 服部 幹史（会長）、高木 眞子（副会長）、  
長谷川一己、香村 茂、小島 晴美、北村 智春、  
磯部 秀人、谷村 志浦、北村 智春、鯉江 美穂、小野 宗雄、  
奥井 優、竹村 昇、内山 直隆、阪田 華子、河村 善子  
欠席委員 中川 芳郎、米満 淳二、蘆田 美絵  
事務局 総務部長、交通防犯課長、交通防犯課統括主任、同主任、同主任  
傍聴人の数 0人

### 会議の概要

- 1 開会のことば
- 2 市民憲章唱和
- 3 会長あいさつ
- 4 協議・報告事項

#### (1) 令和7年（2025年）犯罪発生状況について

事務局による資料1の説明

東海警察署生活安全課長より最近の犯罪に関する傾向についての補足説明

（生活安全課長） 東海警察署管内の刑法犯発生件数は、令和7年も連続して増加している。特殊詐欺は管内で62件発生しており、被害額は2億1千万円。前年に比べて5千万円減少したが、依然として高止まり状態となっている。

東海市における犯罪は、空き巣がプラス9件発生している。乗り物盗では変わらず自動車盗が発生しており、ランドクルーザー・レクサス・アルファード等の高級車が狙われており、愛知県警はランドクルーザーの所有者に対して個別の啓発を実施している。

自転車盗については、被害の約八割が無施錠での被害とな

っている。自宅敷地内・マンション等での被害が増加している。

特殊詐欺は市内全ての学区で被害が発生している。警察官騙りのオレオレ詐欺が増加しており、これは従来の特殊詐欺とは被害者の年齢層が異なり、被害者の約七割が20代から50代となっているため、若年層に向けた啓発が必要だと感じている。LINEで見せられた逮捕状の画像に被害者の氏名が既に記載されているなど、手口は年々巧妙化してきている。

(2) 令和7年度（2025年度）の地域安全活動実績について  
事務局による資料2の説明

(3) 令和8年度（2026年度）の地域安全活動重点施策及び主な事業（案）について  
事務局による資料3の説明

(委員) 東海市内に防犯カメラは何台設置されているか。

(事務局) 現在、交通防犯課が管理する防犯カメラは市内に170台設置している。

(委員) 防犯カメラの新設要望はあるか。

(事務局) 多くの場合、自宅近隣に対する要望であるため、防犯用具購入費補助制度を案内している。

(委員) 防犯灯の新設要望はあるか。

(事務局) 要望内容を精査し、必要に応じて設置している。

(委員) 防犯灯の電気代は誰が支払っているのか。

(事務局) 市が支払っている。

(委員) 他市等と比べて東海市は夜が明るいと言っている。東海市はそういうところにお金を使っているのだなと思った。

(4) 地域安全推進モデル地区について  
事務局による資料4の説明

5 閉会のことば